

2025年度 戸板女子短期大学一般選抜「国語」 出題意図・方針

短期大学の授業では、専門科目の学びをより確実なものとするため、テキストや資料を読んで内容を正確に理解し、またわかりやすく他者に伝えることが求められます。本学の国語の問題は、こうした授業理解のための日本語基礎力を判定するためのものです。大問三問のうちわけは、㊦現代文、㊧現代文、㊨漢字・ことわざ等語彙の基礎知識、となっています。

㊦は論説文で、文章の論理、言葉の意味を正確に読む力を判定します。語彙や漢字に関する知識、具体的に何を述べているのか理解したうえでの言い換え、筆者の主張やその主張に対する理由や例などの文のつながり、言葉や文、段落の接続関係、全体の主旨や論理構成を問う問題が出されます。

㊧は㊦とは違うタイプの論説文で、記述式の解答が求められます。文章の前後のつながりをおさえ、書いてあることを正確に読み、内容を理解するといった読解の基本は変わりません。漢字に関する設問もあります。文章のすじみちを読み取る力を判定する点で、基本的な出題方針は㊦と同じです。

㊨は漢字、ことわざ、慣用句、対義語、類義語等について、基本的な知識を問う設問です。漠然と覚えている言葉や文字について感覚で書くのではなく、とめやはらいまで、正しく丁寧に書くこと、読み手に読みやすく書けるかどうかを重視しています。